

形成外科 小熊医師のボランティア記

～ベトナムでの手術体験記～

7月初旬にベトナムへの医療ボランティアに参加しました。この活動は済生会中津病院形成外科元部長の平本道昭医師が15年前から始められ、全国の形成外科有志医師と共に年2回渡航し、形成外科手術を指導するものです。

今回で31回目の訪問になるそうです。私は10年前に1度参加しており、今回で2回目の参加となりました。



< 形成外科 小熊医師 >

10年前に比べると街の風景は大きく変わっており、ベトナムの経済発展を実感する事ができました。ベトナム中部港湾都市であるダナンに滞在し、私立ホンマイ病院で手術を行いました。症例は唇裂や口蓋裂、小耳症といった先天性の顎顔面疾患です。

ベトナムでは、形成外科はまだ一般的ではなく、多くの患者が手術を待っている状況です。

機会があればまた参加したいと思います。



< 小熊医師（左から2人目）とベトナム人スタッフ >

看護の心をみんなの心に



“看護の心をみんなの心に”をテーマに今年も看護の日を開催しました。

看護師を中心に

に「まちの保健室」と題した、健康相談や乳がん検診のすすめ、血圧などの測定を行い、日常生活の中で病気の予防策や健康法についての相談を行いました。

「病気になってからではなく予防法について学ぶことができ良かった」という意見をいただきました。



お花を育てていただきました

緩和ケア病棟新設にあたり、兵庫県立農業高校園芸科の生徒さん達に屋上庭園で使用するお花を種から育てていただきました。



県立農業高校では、「生活活動の実践研究における、園芸療法」という授業の一環で園芸療法に取り組んでいます。生徒さん達のように笑顔いっぱいの屋上庭園になるように、スタッフ



一同お花の手入れをがんばっていきたくと思っています。みなさんありがとうございました。

高砂市民病院ニュース

第19号

平成25年8月

きぼう



——— 基本理念 希望のある医療 ———



< 新任職員とぼっくりん >



< 看護の日の様子 >



< 七夕コンサート >

がん化学療法認定看護師が誕生しました



< 片岡 久美 看護師 >

この認定看護師は、がん化学療法を受ける患者さまとご家族を支え、安全を守っていく事を使命としています。現在、2人に1人が“がん”に罹患すると言われていています。そのがん患者さまと向き合い、医師・薬剤師等の医療スタッフと連携しながらより安全に、より快適に治療が受けられるよう、また患者さまの思いに寄り添い、不安を少しでも軽減できるように努めてまいりたいと思います。

< 編集・発行 >

高砂市民病院 広報誌編集委員会

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(代表) Mail tact5510@city.takasago.hyogo.jp

新任医師を紹介します！

4月着任



よし たけ すぐる
吉武 優 (形成外科)

4月よりお世話になっています。形成外科の吉武です。3月までは、加古川で働いていました。少しでも患者さまのお力になれるよう頑張っていますのでよろしくお願いいたします。

4月着任



みやうち はるのり
宮内 玄德 (外科)

釣やサイクリングが好きですが、以前より外に出る機会が減ったのでずいぶん色白になりました。(笑) よろしくお祈りします。

4月着任



しらい あつし
白井 敦 (内科)

4月からお世話になっています。内科の白井です。専門は腎臓ですのでお困りのことがあれば、気軽に声をかけてください。

5月着任



はやし ちかこ
林 史子 (外科)

5月1日より赴任して参りました。患者さまのお力になれるよう頑張っていきます。よろしくお祈りします。

臨床研修医を紹介します！



なかむら けい
中村 圭

4月よりお世話になっております。わからないことばかりですがよろしくお願いいたします。



やまだ だい
山田 大

4月よりお世話になっております。“笑顔でがんばります!!” のでよろしくお願いいたします。



えびす しんいちろう
戎 伸一郎

4月よりお世話になっております。患者さまのお力になれるよう、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



研修の様子

日々、先輩医師に付いて技術を学び指導を受けています。手術室での1コマです。

緩和ケア病棟・血液浄化センターの内覧会

地域に密着した医療を目指して、本年3月から始めました大規模改築工事も6月末で無事完了し、7月6日には市民、医療関係者合わせて約400名のご参加のもと盛大に内覧会が開催されました。

当日は、市長、市議会議員、病院事業管理者のあいさつに続き、緩和ケア内科の若原医師による「緩和ケアとは」と題した講演のあと、6階の緩和ケア病棟、4階の血液浄化センターを見学していただきました。



<大野病院事業管理者のあいさつ>

緩和ケア病棟は、一般病棟とは大きく趣を変えて、病院の基本色である白ではなく、木目調で落ち着いた雰囲気、患者さまがよりリラックスできるような空間になっています。隣接する屋上庭園(天空の庭)からは、明石海峡大橋も望むこともできます。兵庫県立農業高校の生徒さんに育てて頂いたお花も庭園を華やかにしています。



<緩和ケア病棟 談話室>



<屋上庭園>



<緩和ケア病室>

4階には当院が長年にわたり力をいれてきた透析施設の「血液浄化センター」を拡充しました。

ベッドの間隔や通路を広げ、患者さまがリラックスして治療を受けていただけるよう配慮しています。

更衣室や待合所は、ピンクを基調とし清潔感のある広々としたものにし、診察後もくつろげるスペースを整備しています。



<血液浄化センター>